

令和6年度 第4回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 当事者活動支援部会 会議録	
日時	令和6年7月10日(水) 17:30~18:30
開催場所	地域活動ホームゆめ ボランティアルーム
出席者	10名
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議題	<p>目的 前回到引き続き、まずは部会のメンバー同士がお互いのことを知る機会を持つこととした。今回は、精神障害をもつ当事者として参加されているT氏の話をもつ回とした。</p> <p>内容(抜粋) T氏が部会に参加することになったきっかけ、これまでの経歴など、事前に書面にまとめてきてくださったものを読んでいただいた。その後、座談会形式で部会メンバーからTさんへ質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会への参加は、ケアマネから当事者活動支援部会を紹介されたことがきっかけ。 ・30年あまり引きこもり状態だった。両親に言われ精神科を受診、精神手帳を取得したのは初診日からかなり経ってからだった。 ・両親の反対がありながらも一人暮らしを始めたが、一時期は回覧板をまわすことも辛い時期があった。近隣の人に自身が障害を持っていることを話すことはできない。 ・仕事が長続きしないことを引け目に感じることもあった。今ではそれも含めて「病気」なのかもしれないと思うし、自然な自分だと受け入れることが出来た。 ・始めた当初は続かなかったカメラも、ギターも、今は続けている。 <p>質問(抜粋) 「精神手帳を取得するのに抵抗はなかったですか？」 →「抵抗はあまり感じなかった。両親に言われて受診したという感じ。デイケアに通っている人たちからの話も聞いており、障害年金を取得できることも利点だと感じた」 「何をしているときが一番楽しいですか？」 →「今が一番楽しい」「稼ぐことを目的とするのではなく、それをやることで自分が喜びを見いだせることが大事だと思っている」 「(部会など) こういう場に出て話をするのは負担にはなっていませんか？」 「この場は大丈夫。健常の人との間にいると感じる。(デイケアなどで) 同じ障害をもつ人の話を聞いていると、どのような立場で声をかけていいのか、言葉の選び方を考えたりすることもある」</p> <p>意見(抜粋) ・障害をもつ当事者として、というよりも、一人の人間として共感できる部分がとても多かった。今のTさんの心境に至るまでには、今回話しきれない部分も多いのだろうと感じた。</p>

・(Tさんの話の中を聞いて) 昨年度のように映画上映は難しくとも、何か出来る範囲で普及啓発の活動が出来ればよいと感じた。

次回：9/11(水) 17:30～

地域活動ホームゆめ2F ボランティアコーナーにて